



産業フェアで農産物を販売する能代科技高の生徒

能代の産品 ご覧あれ

産業フェア、きょうまで

能代市の産品を広く展示販売する「のしろ産業フェア」と、特産のネギを売り出す「白神ねぎまつり」が12日、同市の能代山本スポーツリゾートセンター・アリーナスで始まり、多くの人でにぎわった。きょう13日まで。

産業フェア（実行委員会主催）は市内外の企業や店舗がアリーナ内で食品、衣料品、木工品などを幅広く販売。産業教育に取り組む高校のブースも設けられ、能代科学技術高の生徒はシクラメンの鉢や野菜、袋入りのあきたこまち

などを売り出した。能代松陽高の生徒は、各店舗と連携してオリジナルの麺料理やケーキを販売した。

白神ねぎまつりは、JAあきた白神などの主催。屋外で焼いたネギをその場で味わう「千本焼き」や皮むき体験、加工品を含めた販売コーナーを設けている。

午前9時半～午後3時。アリーナ内のステージでエクササイズ、じゃんけん大会なども開かれる。

（佐藤辰）